

## ■ 掲示板

### ■ 公益財団法人 高エネルギー加速器科学研究奨励会 奨励賞候補者募集要綱（平成29年度）

- 趣旨：加速器ならびに加速器利用に関する研究において、特に優れた業績をおさめた研究者・技術者に次の4賞で構成される奨励賞を授与し、もって加速器科学の発展に資することを目的とする。
- 各賞の応募条件：
  - 西川賞：加速器ならびに加速器利用に関する実験装置の研究において、独創性に優れ、かつ論文発表され、国際的にも評価の高い業績をあげた、原則として50才以下（応募締切時）の単数または複数の研究者・技術者
  - 小柴賞：素粒子研究のための粒子検出装置の開発研究において、独創性に優れ、国際的にも評価の高い業績を上げた、原則として50才以下（応募締切時）の単数または複数の研究者・技術者
  - 諏訪賞：加速器科学の発展上、長期にわたる貢献など特に顕著な業績があったと認められる研究者・技術者・研究グループ
  - 熊谷賞：研究開発、施設建設など長年の活動を通じて、加速器や加速器装置への顕著な貢献が認められる企業の加速器関係者
- 表彰件数：4賞合わせて5件程度
- 賞の内容：賞金（各賞30万円）と表彰盾（各課題毎）を授与する
- 選考方法：推薦のあった者について公益財団法人 高エネルギー加速器科学研究奨励会選考委員会で選考し、理事会において決定する。
- 選考：平成29年11月上旬
- 提出書類：
  - (1) 推薦書（当公益財団法人のホームページに掲載の様式による）
  - (2) 選考資料 研究業績に関する発表論文（3編以内）のコピー（各2部）
- 受付期間：平成29年6月1日（木）～平成29年10月25日（水）
- 書類の提出ならびに問合せ先：  
公益財団法人 高エネルギー加速器科学研究奨励会事務局  
〒305-0801 茨城県つくば市大穂 1-1 高エネルギー加速器研究機構内  
TEL・FAX：029-879-0471  
E-mail: info@heas.jp  
ホームページ：http://www.heas.jp/

## ■会告

### ■日本放射光学会第114回評議員会議事録

日 時：2017年4月8日（土） 14：00～16：00

場 所：関西学院大学 東京丸の内キャンパス 大会議室

出席者：朝倉清高，足立純一，雨宮慶幸，石川哲也（会長），太田俊明，尾嶋正治，加藤政博，木村昭夫，木村滋，木村真一，組頭広志，小杉信博，後藤俊治，櫻井吉晴，辛植，鈴木基寛，大門寛，高田昌樹，高原淳，原田慈久，平井康晴，藤原明比古（庶務幹事），藤森淳，村上洋一，矢代航（行事幹事），山本雅貴，渡邊信久，吾郷日出夫（編集幹事），雨宮健太（渉外幹事），渡部貴宏（会計幹事）

欠席者：繁政英治，松田巖，水木純一郎

事務局：笹部昌子，佐藤亜己奈

#### 〈審議事項〉

##### 1. 年会・合同シンポジウム主催について

これまで、「日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウム」は日本放射光学会が主催となり、学会の会計の中に収入費・支出費を含める形で運営が行われてきたが、同会合が学会の年会のみでなく合同シンポジウムであること等を考慮し、JSR2018以降、以下の通り変更することが提案された。審議の結果これを承認し、組織委員会に諮ることとした。

主催：各回の組織委員会（毎年，組織/解散）

共催：日本放射光学会，各種研究施設，懇談会等

会計：年会の収支を独立に集計した後，その差額を処理（2016年度決算より変更済）

##### 2. 特別委員会提言

KEK 放射光 CDR に関する特別委員会提言（案）を高エネルギー加速器研究機構へ提出することの賛否について，3月末に評議員会でメール審議が行われた。「このままで賛成」および「一部修正の上，賛成」が過半数を超え可決された旨，藤原庶務幹事より報告があった。尚，表現・構成に関しては，コメントを考慮した改訂を検討する必要があるため，特別委員会期間を1か月程度延長し，最終版をメールで拡大評議員に報告することが提案され，これを承認した。

また，石川会長より，特別委員会の報告方法（ホームページ案）について説明があり，これを承認した。

##### 3. 文部科学省ロードマップ2017

文部科学省より4月14日締切でマスタープラン2017の提案をベースとしたロードマップ2017審査書類の提出依頼があった旨，藤原庶務幹事より報告があった。内容はマスタープランで議論したものであるため，幹事会に一任し，提出した内容を評議員会に報告することとした。

##### 4. 若手科学者ネットワーク

本学会内若手より「放射光学会若手部会設立要望書」が提出されたことについて，藤原庶務幹事より報告があった。設立の趣旨や活動内容に関して学会からも若手部会に提案をした上で，活動を承認することとした。

また，現在は行事幹事が窓口を担当している日本学術会議若

手アカデミー若手科学者ネットワーク分科会の担当窓口1名の選出を若手部会に委任し，今後は渉外幹事と2名体制とすることについて提案があり，これを承認した。

##### 5. 「放射光ユーザーのための検出器ガイド」電子出版の合意書締結の承認伺い

本学会監修の書籍「放射光ユーザーのための検出器ガイド」が在庫切れとなり重版予定もないことから現在入手不可能となっている。これについて吾郷編集幹事より，電子書籍として流通させるため講談社と「デジタル的利用およびオンデマンド出版に関する合意書」を締結することについて提案があった。合意書の内容を確認し，契約を進めることを承認した。

##### 6. 会員異動

藤原庶務幹事より，第113回評議員会以降の入会申請者に関して，入会：正会員5名（内学生2名），シニア会員2名の報告があり，これを承認した。退会に関して，退会：正会員27名（内学生16名）を確認した。また，会費3年間滞納のため自動退会となった28名と現在会費2年滞納となっている33名のリストを確認した。

2017年4月8日現在の総会員数は1,269名（内学生127名），名誉会員6名，シニア会員51名，賛助会員46社（48口），特別賛助会員12団体（19口）。

##### 7. 協賛・後援・共催

雨宮渉外幹事より，本学会に対する協賛・後援依頼について報告があり，協賛12件，後援2件を承認した。

#### 〈報告事項〉

##### 1. 学会三賞公募について

藤原庶務幹事より，第22回学会奨励賞・第5回功労報賞・第1回放射光科学賞の応募要領が示され，これを承認した。

##### 2. 次期会長・評議員選挙について

藤原庶務幹事より，次期会長・評議員選挙のスケジュール，推薦依頼文が示され，これを承認した。また，今回より導入されるオンライン投票の方法について説明があった。尚，選挙担当は木村真一評議員にお願いをすることとした。

##### 3. JSR2017実施報告，JSR2018・JSR2019準備状況

矢代行事幹事より，第30回年会・合同シンポ（JSR2017）および市民公開講座の参加者数，収支などについて報告があった。

また，2018年1月8日（月・祝）～10日（水）につくば国際会議場で開催される第31回年会・合同シンポ（JSR2018）および2019年1月9日（水）～11日（金）に福岡国際会議場で開催予定の第32回年会・合同シンポ（JSR2019）の準備状況について報告があった。

##### 4. 第9回若手研究会準備状況

矢代行事幹事より，第9回若手研究会の公募に関して，1件の応募があり，4月11日に審査委員会を開催し，採否を決定するとの報告があった。

##### 5. 第9回基礎講習会準備状況

矢代行事幹事より，第9回放射光基礎講習会の準備状況について報告があった。開催日は2017年9月13日（水）～15日

- (金)のうち2日間、場所は東京大学本郷キャンパスの予定。
6. 日本学術会議若手アカデミー若手科学者ネットワーク分科会  
矢代行事幹事より、日本学術会議若手アカデミー若手科学者ネットワーク分科会の活動について報告があった。
  7. 会誌編集状況  
吾郷編集幹事より、学会誌の発行および編集状況について報告があった。また、放射光ビームライン光学技術入門改訂に関わる編集委員2名への就任依頼を行った旨、報告があった。
  8. 渉外幹事業務報告  
雨宮渉外幹事より、共催・協賛・後援の審議、ホームページの更新、メーリングリストでの案内の配信、イベント案内などの学会誌への掲載など、渉外幹事業務について報告があった。
  9. 東レ科学技術研究助成採択  
藤原庶務幹事より、第57回(平成28年度)東レ科学技術研究助成について、放射光学会から推薦していた和達大樹会員が助成受領者に決定した旨、報告があった。

#### 評議員会日程(予定)の確認

第115回評議員会 2017年7月8日(土)

場所: 関西学院大学 東京丸の内キャンパス

#### ■ 会員異動

第114回評議員会(2017年4月8日)で承認

##### 《正会員入会》

赤田 圭史 東京大学物性研究所原田研究室  
Voegeli Wolfgang 東京学芸大学 自然科学系 物理科学分野  
深谷 亮 高エネルギー加速器研究機構物質構造科学研究所  
以上3名

##### 《学生会員入会》

浴畑 嶺 京都大学 工学研究科 先端材料機能学研究室  
平野 嵩 大阪大学 大学院工学研究科 山内研究室  
以上2名

##### 《シニア会員入会》

南波 秀樹 一般財団法人 放射線利用振興協会  
末廣 祥二  
以上2名

##### 《退会会員》

正会員11名, 学生会員16名

##### 《会員数》

会員1269名(内学生127名) 名誉会員6名 シニア会員51名  
賛助会員46社(48口) 特別賛助会員12団体(19口)

#### ● 会誌オンライン利用方法に関するご案内 ●

編集委員長 吾郷日出夫  
渉外幹事 雨宮健太

オンライン会誌にアクセスするには、放射光学会のトップページにある会員専用ボタンをクリックし、会員専用ページにアクセスする必要があります。

会員専用ページにアクセスするためのユーザー ID とパスワードは

User ID: jsr303

Password: Ea2ibgkN

です。このユーザー ID とパスワードは、次号が発行された後に失効します。

会員専用ページにある、学会誌「放射光」のオンライン閲覧をクリックして頂ければ、オンライン会誌を従来通りご覧頂くことができます。

会員以外の方へのパスワード漏洩は禁止いたします。また、記事の著作権は日本放射光学会にありますので、転載等のご希望に関しては、必ず事務局までご連絡下さい。良識あるご利用で、会員の皆様のお役に立てれば幸いです。

ホームページに関して問題等ございましたら、雨宮(kenta.amemiya@kek.jp)までご連絡下さい。オンライン会誌に関するご連絡は、吾郷(ago@spring8.or.jp)までお願いします。

## ■行事予定

開催月日	名 称	開 催 地	主催又は問い合わせ先	掲載巻・号
2017年 6/12-14	物性研究所短期研究会 光で見る・操る 電子物性科学の最前線 ～強相関, トポロ ジー, 低次元, ダイナミクス～	物性研究所本館 6階 大講義室 (A632)	東京大学物性研究所 E-mail: kondol215@issp.u-tokyo.ac.jp	30・3
6/22-23	2017年 第42回光学シンポジウム「実用的 な最先端の光学設計/光計測/光学素子/光 学システム, 光学における機械学習の活用」	東京大学 生産技術研 究所 An 棟 コンベン ションホール	一般社団法人 日本光学会 E-mail: optsymp42-aud@myosj.or.jp	30・1
7/6	第60回化合物新磁性材料専門研究会「中性 子散乱を利用した化合物磁性研究の最前線」	東京大学本郷キャンパス理 学部4号館2階1220教室 TV中継会場: SPring-8 中 央管理棟 3FTV会議室, J- PARC CROSS のTV会議室	日本磁気学会 化合物新磁性材料専門研 究会 TERADA.Noriki@nims.go.jp	30・3
7/6	日本真空学会関西支部&日本表面科学会関 西支部合同セミナー2017「水素の挙動と物 質科学 ―最近の展開―」	大阪大学中之島セン ター 10階 佐治敬三 メモリアルホール	(公社)日本表面科学会関西支部, (一 社)日本真空学会関西支部, 大阪大学 E-mail: moritani@eng.u-hyogo.ac.jp	30・3
7/9-12	第17回 SPring-8 夏の学校―最先端の放射 光科学を学ぶ―	大型放射光施設 SPring-8	兵庫県立大学大学院 物質理学研究科・生命 理学研究科, 関西学院大学大学院 理工学研 究科, 東京大学 放射光分野融合国際卓越拠 点, 岡山大学大学院 自然科学研究科, 大阪 大学 光科学連携センター・蛋白質研究所・ 核物理研究センター, (公財)高輝度光科学 研究センター, 理化学研究所 放射光科学総 合研究センター, 日本原子力研究開発機構 物質科学研究センター, 量子科学技術研究 開発機構 放射光科学研究センター E-mail: 2017summerschool@spring8.or.jp	30・2
7/12-14	日本結晶学会講習会「粉末 X 線解析の実 際」	東京理科大学 1号館 17階記念講堂	一般社団法人日本結晶学会 E-mail: crsj-xray@bunken.co.jp	30・3
7/20-23	AMSI2017 (12th Asian Meeting on Syn- chrotron Radiation Bio-Medical Imaging)	中国新疆ウイグル自治 区烏魯木齊(ウルムチ)市 環球大酒店 Huanqiu International Hotel	Shanghai Synchrotron Radiation Facility (SSRF) E-mail: guohan@sinap.ac.cn	30・3
7/21	第45回 薄膜・表面物理セミナー (2017) エネルギーハーベスティングのための薄膜 ・表面技術	産総研 臨海副都心セ ンター 別館11階会議 室 11205室	応用物理学会 薄膜・表面物理分科会 E-mail: oda@jsap.or.jp	30・2
8/4-6	第20回 XAFS 討論会	公益財団法人姫路・西 はりま地場産業セン ター (じばさんびる)	日本 XAFS 研究会 E-mail: xafs2017@spring8.or.jp	30・3
8/17-19	2017年真空・表面科学合同講演会	横浜市立大学金沢八景 キャンパス	公益社団法人日本表面科学会, 一般社 団法人日本真空学会 E-mail: taikai17@sssj.org	30・2
8/24-25	第9回「役に立つ真空技術入門講座」	大阪電気通信大学 駅 前キャンパス	日本真空学会 関西支部 E-mail: shinku-kansai@prec.eng.osaka-u.ac.jp	30・3
9/4-5	SPring-8 シンポジウム2017 高性能化で 目指す SPring-8 の将来	広島大学 東千田未来 創生センター M401- 402 講義室 他	SPring-8 ユーザー協同体, 理化学研究所, 高輝度光科学研究センター, 広島大学 E-mail: sp8sympo2017@spring8.or.jp	30・3
10/22-26	The 8th International Symposium on Sur- face Science (ISSS-8)	つくば国際会議場 (エポカルつくば)	公益社団法人日本表面科学会 E-mail: iss8@sssj.org	30・2
10/26-27	第53回 X 線分析討論会	徳島大学常三島キャン パス	公益社団法人日本分析化学会 X 線分析 研究懇談会 E-mail: takashi-yamamoto.ias@ tokushima-u.ac.jp	30・3
11/8-10	第58回高圧討論会	名古屋大学	日本高圧力学会 E-mail: touronkai58@highpressure.jp	30・3

## ■物性研究所短期研究会

光で見る・操る 電子物性科学の最前線

～強相関，トポロジー，低次元，ダイナミクス～

物質の電子物性を司る電子構造を直接観察できる光電子分光は、電子物性科学において強力かつ汎用な実験ツールとしての地位をすでに確立している。この潮流と立ち位置は今後も維持されていく一方、次世代を担う若手研究者には、光電子分光が持つさらなるポテンシャルの拡大が大きく期待されている。これまで、高温超伝導体の発見に伴う超伝導ギャップ同定や、トポロジカル絶縁体の電子構造が背負うスピン偏極観察など、新物質発見の各局面が光電子分光技術の進展を力強く後押ししたことは周知の事実である。これら見たい物質からの要請と相まって、光電子分光技術は光源の進展とも足並みを揃えて発展して来た。近年、独立に進歩を続けてきた放射光とレーザーが波長領域の守備範囲で大きな重なりを持つようになり、光電子分光利用においてもその目的に応じて横断的に使い分け可能な時代に突入している。制御されて整った光を持つコヒーレンス、偏光、パルス性といった3大特徴を駆使すれば、見るツールとして光電子分光の幅が広がるだけでなく、電子状態を操る側面を併せ持ち、光電子分光を基軸とする物性科学への夢は大きく広がる。本研究会では、光電子分光が持つ秘められた可能性を模索しつつ、近未来物性科学へ活かす機会と捉え、気鋭の若手研究者を集結させ議論する。

主催：東京大学物性研究所

日時：2017年6月12日（月）～6月14日（水）

場所：物性研究所本館6階 大講義室（A632）

問合せ先：E-mail: kondo1215@issp.u-tokyo.ac.jp

詳細：http://www.geocities.jp/qxbqd097/2017ARPES.htm

## ■第60回化合物新磁性材料専門研究会

「中性子散乱を利用した化合物磁性研究の最前線」

中性子散乱は物質の磁気構造や励起を調べる最も有用な手法の1つであり、近年J-PARCや海外の大型中性子実験施設においてめざましい技術発展をとげている。本研究会では、中性子散乱を用いた局所構造解析や磁気構造解析、極限環境、非弾性散乱にいたる最新の実験技術、解析手法を紹介し、理論や物質合成の立場から、中性子散乱の有用性について議論する。研究会のはじめに、大学院生を対象とした中性子散乱に関するチュートリアル講演も行う。

主催：日本磁気学会 化合物新磁性材料専門研究会

日時：2017年7月6日（木）13:00-18:00

場所：東京大学本郷キャンパス理学部4号館2階1220教室（〒113-8656 東京都文京区本郷7-3-1）

TV中継会場：SPring-8 中央管理棟 3FTV会議室，J-PARC CROSSのTV会議室

参加費：無料

問合せ先：物質材料研究機構 寺田典樹

TERADA.Noriki@nims.go.jp

詳細：http://www.magnetics.jp/special/newmag/newmag\_060/

## ■日本真空学会関西支部 & 日本表面科学会関西支部合同セミナー2017

「水素の挙動と物質科学 ―最近の展開―」

水素原子の拡散や電子との相関は、多くの化学反応や生体内の相互作用において重要な役割を担っていることが知られています。また、水素貯蔵材料や鋼材の水素脆化など、物質・材料科学における水素の重要性は古くから認識されておりました。しかし、水素の測定は難しさから、これらの詳細なメカニズムは長らく解明されませんでした。近年、物質表面や内部における水素の動的・静的挙動やその影響が詳細に明らかにされつつあります。本セミナーでは、水素と物質に関する研究の最前線でご活躍されている先生方をお招きし、最新の研究成果や将来展望について御講演いただけますよう企画いたしました。多くの方の積極的な御参加をお待ちしております。

主催：（公社）日本表面科学会関西支部，（一社）日本真空学会関西支部，大阪大学

日時：2017年7月6日（木）13:00-17:00

場所：大阪大学中之島センター10階 佐治敬三メモリアルホール

参加費：無料（テキスト代実費）

定員：180名

申し込み締切り：2017年7月5日（水）

申し込み方法：

http://www.vacuum-jp.org/またはhttp://www.sssj.org/よりリンクされた合同セミナーの案内ページ，http://www.sssj.org/Kansai/goudou170706.htmlからのONLINE申し込みを推奨します。

電子メール，または官製ハガキによる場合は以下を記して問い合わせ先へお申し込み下さい。

- (1) 「2017合同セミナー申込み」
- (2) 氏名（ふりがな）
- (3) 連絡先（勤務先または自宅住所（〒付記），Tel, Fax，電子メール）
- (4) 参加区分（日本真空学会会員，日本表面科学会会員，その他の別）

問合せ先（担当幹事）：

盛谷浩右（〒671-2201 姫路市書写2167 兵庫県立大学大学院工学研究科）

TEL：079-267-4921 E-mail: moritani@eng.u-hyogo.ac.jp

## ■日本結晶学会講習会「粉末 X 線解析の実際」

主催：一般社団法人日本結晶学会

協賛：日本放射光学会，他

日時：2017年7月12日（水）～7月14日（金）

場所：東京理科大学1号館17階記念講堂

参加費（各々1コース，2コース，3コースを受講した時の費用）：

主共催および指定学会\*会員：7000，11000，14000円

協賛学会会員：8000，13000，16000円

一般：10000，18000，26000円

学生：4000，6000，8000円

\*日本化学会，日本分析化学会，日本薬学会（主催賛助会員含

む)

※テキストとして「粉末 X 線解析の実際」第 2 版 (朝倉書店、  
売価6090円) を使用します。

おもちでない方は、受講生ひとり 1 冊に限り特別割引価格の  
4000円 (税込) で頒布します。

定員: 180名 (先着順) 前回は満員となりましたので、早めの  
申込をお勧めします。

申込問合せ先:

〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5 アカデミーセンター  
日本結晶学会ヘルプデスク FAX(03)3368-2827

E-mail: crsj-xray@bunken.co.jp

内容問合せ先:

〒162-8601 東京都新宿区神楽坂 1-3

東京理科大学理学部応用化学科

阿部善也, 中井 泉

TEL(03)3260-4271 FAX(03)5261-4631

E-mail: y.abe@rs.tus.ac.jp

詳細: <http://www.crsj.jp/>

## ■AMSI2017 (12th Asian Meeting on Synchrotron Radiation Bio-Medical Imaging)

主催: Shanghai Synchrotron Radiation Facility (SSRF)

日時: 2017年 7月20日 (木)~7月23日 (日)

場所: 中国新疆ウイグル自治区烏魯木齊 (ウルムチ) 市 環球大  
酒店 Huanqiu International Hotel

問合せ先:

Shanghai Synchrotron Radiation Facility (SSRF)

問合せ先 1: Dr. Han Guo (SSRF)

E-mail: guohan@sinap.ac.cn

問合せ先 2: AMSI 日本側組織委員:

兵藤一行 (KEK 放射光研究施設)

E-mail: kazuyuki.hyodo@kek.jp

TEL: 029-864-1171 phs 4380

あるいは

安藤正海 (東京理科大学)

E-mail: msm-ando@rs.noda.tus.ac.jp

## ■第20回 XAFS 討論会

主催: 日本 XAFS 研究会

協賛: 日本放射光学会, 他

日時: 2017年 8月4日 (金)~8月6日 (日)

場所: 公益財団法人姫路・西はりま地場産業センター (じばさん  
びる)

問合せ先:

第20回 XAFS 討論会実行委員会

E-mail: xafs2017@spring8.or.jp

詳細: <http://rud.spring8.or.jp/jxafs20/index.html>

## ■第9回「役に立つ真空技術入門講座」

本講座では、真空機器ユーザー様の新入社員の方・未経験の社  
員の方・学生の方々を主要な受講者と考えております。「真空」  
について全く学習したことがないのに、真空機器を操作している  
技術者の方や学生に対して、真空に関する基礎知識を身に付けて  
いただくことを主眼としております。両日とも講義後に質問や相  
談を行う時間を設けておりますので、講義の内容や日頃疑問に思  
っていることなど多くの質問をお受けいたします。社員研修等に  
ぜひともお役立ていただければと考えております。

主催: 日本真空学会 関西支部

協賛: 日本放射光学会, 他

日時: 2017年 8月24日 (木)~8月25日 (金) 9:30-16:50

場所: 大阪電気通信大学 駅前キャンパス (京阪本線 寝屋川市駅  
徒歩3分)

申込方法および申込先:

オンライン申込み: 下記ホームページにアクセスし、必要事項  
を入力してください。

<http://www.vacuum-jp.org/event/20170824>

日本真空学会 関西支部 役に立つ真空技術入門講座事務局 本  
多信一

Tel: 079-267-4922 (兵庫県立大学 大学院工学研究科 電気物  
性工学専攻 内)

E-mail: shinku-kansai@prec.eng.osaka-u.ac.jp

申込期間: 2017年 6月1日 (木)~8月4日 (金)

(当日参加も受け付けます。8月5日以降にお申込の方は当日  
受付にて参加費をお支払いください。)

定員: 100名

## ■SPring-8 シンポジウム2017

### 高性能化で目指す SPring-8 の将来

SPring-8 は1997年10月の供用開始後、今年で20年を迎えま  
す。これまで、世界のフロントランナーとして高輝度光を活用し  
た数々の成果を創出し、放射光科学を牽引する役割を果たしてき  
ました。近年は、産業界が抱える課題解決に繋がる成果も増加  
し、社会貢献においても重要な役割を担っています。SPring-8  
が、今後、より一層優れた成果を創出し、社会へ貢献し続けるた  
めに、「SPring-8 ユーザー協団体」(SPring-8 Users Community:  
以下 SPRUC) が2012年4月に創設されました。これは、学術  
界、産業界の利用者全員で組織されるものであり、SPring-8 と  
連携して、施設や計測技術の先端性や利用システムの利便性の向  
上に寄与すると共に、科学技術の進歩、新学術、新産業の創成、  
更には、人材育成や社会の発展に貢献することを目指しています。

この SPRUC の中心的な活動の一つとして、SPring-8 シンポ  
ジウム2017を開催します。SPring-8 シンポジウムは、様々な分  
野にわたるユーザーの科学技術的交流の場として、学協会、  
SPRUC を構成する代表機関、SPring-8 施設者 (理化学研究所、  
高輝度光科学研究センター) と共に開催されるものです。第1  
回 大阪大学 (2012年)、第2回 京都大学 (2013年)、第3回 東  
京大学 (2014年)、第4回 九州大学 (2015年) を引き継いで、  
昨年の第5回は関西学院大学において開催されました。

第6回目となった本年のシンポジウムは広島大学東千田キャンパスにおいて開催されます。高性能化を目指すSPring-8の将来と題し、持続可能な社会を実現するためにSPring-8が目標にすべき先端性について、基礎科学から産業応用までの幅広い分野の視点からの討論の場とします。学术界のみならず、産業界の研究者や技術者の参加により、将来のSPring-8の活性化に向けた議論ができることを期待しています。

主催：SPring-8 ユーザー協同体，理化学研究所，高輝度光科学研究センター，広島大学

協賛：日本放射光学会，他

日時：2017年9月4日（月）～9月5日（火）

場所：広島大学 東千田未来創生センター M401-402 講義室 他  
〒730-0053 広島県広島市中区東千田町1丁目1

詳細：<http://www.spring8.or.jp/ja/science/meetings/2017/sp8sympo2017/>

### ■第53回 X線分析討論会

主催：公益社団法人日本分析化学会 X線分析研究懇談会

協賛：日本放射光学会，他

日時：2017年10月26日（木）～10月27日（金）

場所：徳島大学常三島キャンパス  
〒770-8502 徳島県徳島市南常三島町1-1

参加費：一般予約4,500円，一般当日6,000円，学生2,000円

参加申込み方法：インターネットによるオンライン申込み

参加費支払い方法：銀行振り込み

問合せ先：

〒770-8506 徳島市南常三島町2-1 徳島大学 山本孝  
E-mail: takashi-yamamoto.ias@tokushima-u.ac.jp  
<http://web.ias.tokushima-u.ac.jp/xbun53/>

### ■第58回高圧討論会

主催：日本高圧力学会

協賛：日本放射光学会，他

日時：2017年11月8日（水）～11月10日（金）

場所：名古屋大学（〒464-8603 名古屋市千種区不老町 Tel: 052-789-5111）

分野：高圧力の科学と技術に関する次の分野：①高圧装置・技術，②固体物性，③地球科学，④衝撃圧縮，⑤材料科学・固体反応，⑥流体物性・流体反応・溶液，⑦生物・食品，その他，数件程度のシンポジウムを予定しております。

発表形式：口頭発表，ポスター発表

講演申込締切：2017年7月3日（月）

参加登録締切：

事前参加登録締切：2017年10月6日（金）

Web参加登録締切：2017年10月27日（金）

参加費：共催協賛後援学協会会員は会員価格でご参加いただけます。

申込先：

「第58回高圧討論会」ホームページ

<http://www.highpressure.jp/new/58forum/>

問合せ先：

〒530-0001 大阪市北区梅田1-11-4 大阪駅前第4ビル9階 923-674号

株式会社ポラリス・シクレタリーズ・オフィス内第58回高圧討論会事務局

TEL：070-5658-7626 FAX：020-4665-8596/06-6345-7931

E-mail: [touronkai58@highpressure.jp](mailto:touronkai58@highpressure.jp)

実行委員会：

〒464-8603 名古屋市千種区不老町

名古屋大学大学院工学研究科物質科学専攻長谷川正（実行委員長）

TEL：052-789-3370 FAX：052-789-3252

E-mail: [hasegawa@mp.pse.nagoya-u.ac.jp](mailto:hasegawa@mp.pse.nagoya-u.ac.jp)

## ■新刊紹介

### ■ARPESで探る固体の電子構造

—高温超伝導体からトポロジカル絶縁体—

著者：高橋 隆，佐藤宇史

監修：須藤彰三，岡 真

出版社：共立出版

ISBN 番号：978-4-320-03536-2

定価：本体2,000円＋税